広報伊方町

発行所 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 町長公室
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話 ㊀0091番

正賀

自然界の万物は、深い眠りからさめ、新しい年、一九七五年の鼓動が聞えます。いよいよ活動開始です。

ことしも、伊方町特有の風土を生かした、より新しい豊かさをもとめて、街に、山に、海に、町づくり、人づくりが進められます。

私たちの住む伊方町　私たちみんなが力をあわせて、明るく、美しく、そして活気に満ちあふれた町にしなくてはいけません。

町づくりの青写真が、点が線に、線が帯となるように、町民のみなさんの英知と努力と協調によって実現したいものです。

明日に向って……

子どもたちの心はことしのエト「うさぎ」のように純白で、純粋で、まさに天真爛漫です。
〝伊方っ子〟のみなさん！明日に向って元気にはばたこう!!

年頭あいさつ

輝やかしい昭和五十年の新春を迎え、みなさまに心からおよろこび申し上げます。

町内のみなさんも、遠く町外で活躍の方々も新しい年を希望と抱負で楽しくお迎えのことと存じます。

より豊かな町づくりを

町長　山本長松

ふりかえって、本町の現状を見るとき、町をとりまく経済的、社会的環境は、かってない変化の渦中にあると言えます。

伊方原子力発電所の建設をはじめ、新国道バイパス線の建設、南予水資源開発計画、八幡浜、大洲市を中核とする広域市町村圏計画

しかし、有権者の中には町外に仕事をもっているなど、いろいろな事情で当日投票できない人たちの一票がムダに捨てられることのないよう、特に設けられているのが不在者投票の制度です。

社会的環境の変化を見る中で伊方町の未来像として、町外産業に従事する人たちが、つかれをいやす故郷を実現したいと考えるものであります。こんご、町民のみなさんの一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ所感の一端をのべ、年頭のごあいさつと致します。

延べ、金融引締めの強化、投資の抑制などの措置等がおこなわれていますが、わが伊方町といたしても、本町独自の特性を生かしつつあらゆる困難を克服し、諸事業の完成と現状に当面する諸施策を強力に推進いたす所存であります。

このようにかってない経済的、生活環境の整備、保険医療の充実、観光開発など各種の施策を計画しておりますが、さらに本町の特色を生かし、より豊かな町づくりにとり組みたいと考えるものであります。

新らしい年を迎えて

町議会議長　中元清吉

昭和五十年の年頭にあたり伊方町議会を代表しまして、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

町民のみなさん、明けましておめでとうございます。

ここに希望にふれる新春を迎えるにあたり、みなさまがたのご清福とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

日頃から町政の推進と円滑なる議会運営のために惜しみないご協力とご鞭撻をいただき衷心より感謝申し上げます。

激動する今日の社会情勢のなかで当面する幾多の重要案件が山積いたしておりますが、これの解決にはこんご一段の努力を要し、議決機関としての議会の使命はいよいよ重大であると痛感するものであります。

私ども町村自治にたずさわるものは常に自らを反省し、姿勢を正して、さらに良識をつちかい町村自治の振興に努め、町民各位の信託に応えたいと決意を新たにするものであります。

こんども町民各位の暖いご支援をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

愛媛県知事選挙

よく見 よく知り よく考えて

投票日は1月26日

昭和五十年の新年明けとともに愛媛県知事選挙が行われます。

ことしは地方選挙年です。

県知事選挙をトップに県議会議員、町長、町議会議員の各選挙が行われますが、どの選挙もわたしたちの日常生活に密接な関係をもっている大切な選挙です。

県知事は、いうまでもなく全県民を代表して、県行政の推進をなす重要な地位にあります。

この大切な選挙が正しく行われるため、またわたしたちの一票が無効になったり、棄権されたりすることのないようにしましょう。

愛媛県知事選挙は一月一日に告示され、一月二十六日が投票日です。

わたしたちの郷土をよりよくするために、当日は必ず投票いたしましょう。

投票をするためには、選挙権を有していなければ投票することができませんが、永久選挙人名簿に登録されている人、選挙のつど行われる「選挙時登録」に該当し登録されていなければいけません。

投票時間

朝七時から夕方六時まで

一月二十六日の投票日は、午前七時から午後六時まで、町内十一カ所でいっせいに投票が行われます。

有権者はそれぞれの投票所へでかけて自分で投票するのが原則であります。

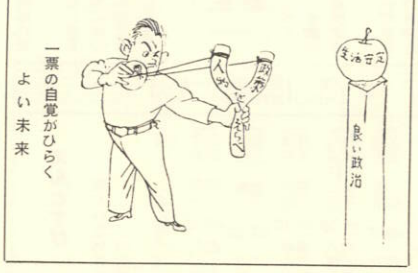
「不在者投票」は前日まで

投票日に旅行や出張、病気などで投票所へ行けない人は、あらかじめ町の選挙管理委員会へ不在者投票ができます。

不在者投票ができる期間は、昭和五十年一月一日から一月二十五日までの間です。

不在者投票の場所は、役場または町見支所で期間中の午前八時三十分から午後五時までです。

投票日に都合で投票できない場合は、棄権することのないよう、この不在者投票を利用して一票を投じましょう。



一票の自覚がひらく よい未来

町の有権者は六〇〇六人

昭和四十九年九月一日現在の町の有権者数はつぎのとおりです。

総数　六〇〇六人
男　二七六〇人
女　三二四六人

投票所の入場券は、各区長さんを通じてお届けしますので、選挙権の有無など疑問の点がある人は町の選挙管理委員会まで連絡してください。

謹賀新年

伊方町役場

町長 山本長松
助役 大本亀夫
収入役 城岡武夫
総務課長 木戸五雄
町長公室長 脇田道
企画財政課長 桝田佳明
税務課長 二宮長幸
住民課長 岡崎春長
福祉課長 岩井正志
建設課長 岩見和哉
産業課長 山口
生活環境課長 成田希儀
国土調査課長 西田恵明
水道課長 河野吉一
副収入役 桝田信夫
支所長 二宮一
農委会事務局長 市尾隆志
職員一同

伊方町教育委員会

委員長 栗田龍彦
教育長 高月歌芳
次長 林鍛
給食センター所長 井上鶴敏
委員・職員一同

町議会議員（議席順）

中元清吉
樫尾寛
高野遠
堀内津喜美
明神紀男
二宮頼志
高田健一
辻忠義
佐々木勝
川口寛之
米沢彦志
加藤惣一
山下朝則
山本清
篠川英一
木戸市弘
永井隆英
矢野吉衛
議会事務局長 兵頭熊一

区長

大浜 中藤雅夫
中之浜 上甲金雄
仁田之浜 松下政秋
河内 土井昭光
湊浦 兵頭三郎
湊浦二 小林一男
小中浦 赤家部政康
伊方越 神野照雄
亀浦 中田時春
中浦 福田万四郎
川永田 畑中敏行
川永田二 中川末広
豊之浦 西野義春
奥 三根生雪数
向 川内学
畑 井上栄一
須賀 井田与之平
久保 堀江益市
西 高野繁
二見 金山保
加周 西村久
田之浦 黒田秋
古屋敷 上野真喜男
大成 重岡利徳
鳥津 岩井友好

七十人が大人の仲間入り

一月十五日 成人式

成人を迎えられたみなさんおめでとうございます。一月十五日は「成人の日」です。町では例年のように一月十五日中央公民館で「成人式」が行われます。

成人になられたみなさん、こぞって出席してください。

つぎに成人者名簿を掲載しましたが、この名簿は住民基本台帳から該当者（昭和三十年一月一日から十二月三十一日までに生まれた人）を調査したものです。

その結果、成人者はことしの場合七十人（男三十一人・女三十九人）の該当者があり、昨年にくらべ三人へっています。

このほかに該当する人で名簿からもれている人、また、町外から帰って伊方町の成人式に出席を希望されている人は、中央公民館まで申し込んでください。

中央公民館　電話八一〇二〇

出席は簡素な服装で

成人式出席の服装については、部落公民館主催、青年団、婦人会のみなさんのご協力と成人者の理解で昭和四十五年より過去五年間、全成人者が洋服姿で出席し、関係者をよろこばせています。

ことしも簡素な服装に統一するため、和服での出席はご遠慮願うことになっています。よろしくご協力をお願いします。

新成人者紹介

◎大浜（男四人　女三人）
米田哲也　黒田憲二　大黒裕太
帰って伊方町の成人式に出席を希望されている人は、中央公民館まで
郎　前田利孝　大黒文子　谷口清美　浜本清子

◎中之浜（男二人　女三人）
瀬口孝作　石鎚賢幸　農野ヤヨ
イ　瀬口佐栄美　門田裕美子

◎仁田之浜（男二人　女二人）
田中新一郎　田中英松　田上和
美　亀井スミ子

◎河内（男一人　女一人）
川上直次郎　土井三紀子

◎湊浦（男一人　女四人）
浅長臣　成田勲美　福田裕子
武田とみ　井上まき子

◎小中浦（女二人）
大本吉子　三好芸香

◎中浦（女五人）
西川由美　亀井智子　井上とし
子　山本ひさ　中井由美子

◎川永田（男七人　女六人）
宮脇喜久吉　篠沢武　玉岡孝千
代　阿部市彦　稲月福蔵　川崎直
文　福田巧　小池井子　稲月千代
菊池喜美吉　松田仁美　篠沢佳代
菊池みな子

◎豊之浦（男六人　女四人）
井上吉春　竹内龍太郎　大泉直
彦　河野一富　岡崎文彦　水口吉
政　竹内松子　河野みつよ　高田
京子　宇都宮智子

◎伊方越（男二人　女一人）
神野泰司　二宮安彦　非関いよ
子

◎奥（女三人）
菊池洋子　田丸智　渡辺理恵

◎向（男一人　女一人）
川内忠光　浪下人美

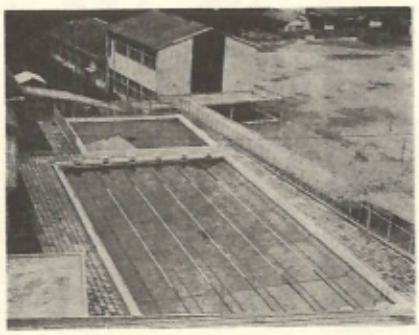
◎畑（男一人）
広野昌秀

◎須賀（男一人　女三人）
脇田憲一　大林春江　阿部祥子

◎田之浦（男二人）
中村公栄　高橋治弥

◎鳥津（男一人）
鳥津憲明

町見中のプールが完成



工事を急いでいました町見中学校のプールが完成しました。

総工費二千八百三十八万円で六コースを有する二十五メートルプールです。

隣接に補助プール、更衣室、シャワーもできあがりました。

今夏にいよいよ待望のオープンです。これで伊方、町見両中学校とも二十五メートルプールが完備したことになります。

新民生委員さんきまる

昭和四十九年十一月三十日をもって任期満了になった民生民童委員さんが改選され、十二月一日付でつぎの方々が厚生大臣より委嘱辞令が交付されました。

これで昭和五十二年十一月三十日までの三年間、町民のよき相談相手となって社会福祉の向上のため、いろいろとお世話いただきます。

担当地区	氏名	再新別
大浜	○山口　馨	再
中之浜	堀口カメヲ	新
仁田之浜	道上　武敏	再
河内	上野　進	〃
湊浦	政木　滝義	〃
小中浦	山神　朝光	〃
伊方越	渡辺高十郎	〃
〃	井関　孝子	〃
〃	亀浦　田中ツマコ	〃
〃	中浦　上田　秀宏	〃
〃	川永田　梶谷　駒繁	新
〃	川永田二　川口　命教	再
〃	豊之浦　井上吉佐太	元
〃	奥　菊池　文義	新
〃	向　堀内　三和	再
〃	畑　脇田　忠剛	新
〃	須賀　○高田　和之	再
〃	西・久保　脇田　春雪	〃
〃	二見　金山　鶴蔵	〃
〃	加周　○茅田　五郎	新
〃	田之浦　中村真佐夫	〃
〃	吉量敷　大池サナエ	再
〃	大成　△二宮　郁子	〃
〃	鳥津　竹上　久雄	新
〃	◎総務　○副総務　△婦人部長	

（敬称略）

国民年金の保険料

1月から1100円に

国民年金はみなさんの老後の生活の安定を図り、病気やケガをしたときなどに、その後の生活を守るためのものです。

その給付（年金）の内容は年々充実されています。

国民年金の給付には、老齢年金、障害年金、母子年金などがありますが、これらの年金額は、四十九年の一月に約二・五倍という大幅な引き上げが行われました。

また、物価の変動に応じて、年金の額を自動的に変えるしくみをとり入れた「年金額の自動スライド制」が、昨年の九月にはじめて実施され、十六・一％増額されました。

このように、年金額の引き上げなどの改善を行うためには、保険料も改定しなければなりません。

国民年金の保険料には、加入した人は必ず納めなければならない「基本（定額）保険料」と、より高い年金を受けるために希望して加入する「附加保険料」があります。

そのうち、基本（定額）保険料は、昭和五十年一月（今月）からこれまで月額九百円が千百円に改定されます。ただし附加保険料は四百円ですえ置かれます。

保険料を納め忘れたりしますと、せっかくの年金の権利に結びつかなくなりますので、納期までには、必ず納めるようにしましょう。

母親学級生を募集

町では、すこやかな赤ちゃんの誕生を願って「母親学級」を開講しますが、その受講生を募集することにしました。

妊娠、出産、育児について正しい知識を身につけるため、妊婦さんや新婚婦さんは、つぎにより開催されますので、すすんで受講しましょう。

受講希望者は、部落の母子保健推進員さんまたは役場生活環境課までお申込みください。

申込みしめきり期限は一月十日までです。

開催期間＝一月二十日から三月七日まで（五回）

〃　場所＝母子健康センター　中央公民館

〃　内容＝(1)妊娠から出産まで　(2)赤ちゃんが生まれる　(3)産後の保健衛生　(4)家族計画　(5)育児　(6)妊産婦の栄養及び調理実習

1975年 農業センサス 2月1日実施

昭和50年2月1日を期して全国いっせいに農業センサスが実施されます。この調査は全国の農家等を対象にして、昭和25年から5年ごとに行われているものです。特に昭和45年の前回センサス以後数年間のわが国農業の動きは激しく、このような時に行われる今回のセンサスは過去のどのセンサスにもまして重要です。

調査員が各農家を訪問し聴きとりの方法で調査しますので関係者のみなさん！よろしくご協力をお願いします。

―お礼―

大阪府高槻市藤の里一八一三にお住いで川崎工務店を経営されている川崎清藤氏（川永田出身）より一万円。

北九州市若松区新町二丁目八番五号にお住いの林茂忠氏（九町出身）より五千円。

北九州市若松区西畑町九丁目にお住いの宮脇栄左エ門氏（川永田出身）より三千円。

東京都千代田区神田多町二丁目六清栄内装株式会社（社長清家範好氏＝亀浦出身＝）より五千円。

それぞれ広報編集の費用にとご寄付いただきました。

紙上より厚くお礼申し上げますとともにご健康とご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。

人

昭和49年11月末現在
世帯数　2,472戸（＋3戸）

人口　8,999人（男4,294人（－6人）（－9人）女4,705人（－3人））

えんむすび

昭和49年11月1日
11月30日

お誕生おめでとう

昭和46年11月1日
11月30日

おくやみ

昭和49年11月1日
11月30日

おわび

先月号（十二月号）四面「人」のえんむすび欄のところで

（稲・月・新吾・今城・春枝）49.4 川永田 山口県 が

（稲井・新吾・今城・春枝）49.4 川永田 山口県 に

なっていましたので、ここに訂正しおわび申し上げます。

編集後記

明けましておめでとうございます

一九七五年の幕あけを知らせる百八つの鐘の音が鳴りおわり、一夜明ければきのうは去年であり、きょうは今年です。

たちまちのうちに年去り、年来たるです。

ことしも人心一心して、町民のみなさんと町行政とを結ぶパイプ役となる親しまれる広報紙づくりにはげみたいと思います。

何分のご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。（Y・O）